

日野太郎の How to エコドライブ! 総集編



燃料消費量を抑えるためには、各ドライバーが省燃費運転を実践することが大切です。しかし、すぐ実践しようとしても、それが負担になってしまつては長続きしません。無理せず省燃費運転を継続するには、運転を「発進・加速時」「走行時」「減速時」「停止時」の4つに分けて考え、実践可能なことから取り組むことが効果的です。

①発進・加速時

アクセルのベタ踏みはしない

急発進・急加速はエンジンが高回転になり、通常走行に比べて燃費が著しく悪化。発進時、アクセルの踏み込みは“ふんわり”を意識しましょう。また、できるだけ高速段のギヤを使用することが省燃費のポイントです。

アクセルを踏み込み過ぎずゆっくりと



シフトアップは「早め」に「グリーンゾーン内」で



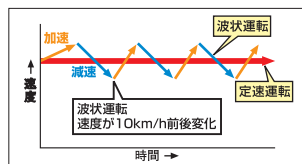
②走行時

無駄な加減速をしない

アクセルを踏みだり離したりする「波状運転」は、燃費悪化の要因になります。安全な車間距離を保ちながら、速度を一定に保つ運転を心がけましょう。

*交通状況によっては、無理をして一定速度を保つ必要はありません。

波状運転＝燃費約10%悪化*



※[定速運転]と比べ、車速が時速10キロ前後変化する場合

4つの
省燃費運転の
ポイント

④停止時

アイドリングは必要最小限に

アイドリングは燃料を無駄に消費するばかりでなく、NOxやPMなどの大気汚染物質を排出します。また、騒音や臭気、振動などの原因にもなるため、停止時は常に必要最小限のアイドリングを心がけましょう。

1時間のアイドリング

↓
エンジン排気量の
約10%の燃料を消費



NOx PM CO₂ 騒音 臭気

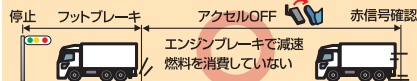
を出す原因にも

③減速時

エンジンブレーキを活用

停止直前までアクセルを踏むことは消費燃料の増加につながります。早めのアクセルオフを心がけ、エンジンブレーキを使った惰力走行を活用しましょう。

停止直前までアクセルON→燃費悪化



急発進・急停止を避け、穏やかな運転に徹する省燃費運転は、安全運転にもなり、事故防止につながります。